

南アメリカの産業と環境

名前 _____

_____ 月 _____ 日

世界の姿 日本の姿 気候と暮らし アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 **南アメリカ州** オセアニア州

今日の問い

南アメリカでは、開発と環境を守ることを、どう両立させようとしているのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 農業と鉱産資源

農業と資源

⑥ 鉄鉱石・銅・石油など、地下からとれる資源。

④ 少ない種類の農産物や資源の輸出にたよる経済。

¹ ブラジル では、植民地の時代から大農園で ² さとうきび や ³ コーヒー が栽培

され、どちらも生産量は世界有数である。かつてはコーヒーの輸出にたよる

⁴ モノカルチャー経済 だったが、近年は ⁵ 大豆 や肉類の輸出がのび、工業も発展している。

南アメリカは ⁶ 鉱産資源 が豊かで、ブラジルでは ⁷ 鉄鉱石 、⁸ チリ では ⁹ 銅 が多くとれ、日本にも輸出されている。



ブラジルの農業と鉱産資源

鉄鉱石はブラジルのカラジャスなどの鉱山から、銅はチリ北部の鉱山からとれる。大豆は中西部、コーヒーやさとうきびは南東部で多くつくられる。

2 アマゾンの開発と環境

開発と環境

⑩ 森林を焼き、その灰を肥料にして作物を育てる農業。

⑫ さとうきびなどの植物からつくる燃料。バイオ燃料の一つ。

⑭ 将来の世代のことも考え、環境を守りながら進める開発。

アマゾン川の流域では、先住民が森林を焼いた灰を肥料にする ¹⁰ 焼畑農業 を行ってきた。

1970年代からは道路がつくられ、牧場や畑、鉱山の開発のため大規模な ¹¹ 森林の伐採 が進んだ。熱帯雨林が減ると、地球温暖化が進むことや、多くの生物がすむ場所が失われることが心配されている。

ブラジルでは、さとうきびなどからつくる ¹² バイオエタノール (¹³ バイオ燃料)が自動車の燃料に使われている。植物が育つときに二酸化炭素を吸収するため、燃やしても大気中の二酸化炭素を増やしにくいとされる。環境を守りながら開発を進める ¹⁴ 持続可能な開発 が求められている。

できた / 14

